被爆体験や平和への想いを伝えるため

被爆者ご本人・被爆体験の伝承者 被爆体験記朗読ボランティア を全国に無料で派遣します

～被爆体験伝承者等派遣事業～

「平和祈念像（長崎）／北村西望作」

「原爆ドーム（広島）」

令和２年度派遣

戦後７０年以上が経過し、被爆者の高齢化が進んでいます。唯一の戦争被爆国として、被爆者の体験や平和への想いを次世代に語り継ぐため、広島、長崎では、被爆者から直接受け継いだ体験を語り継ぐ「被爆体験伝承者 (広島)」、「家族・交流証言者 (長崎)」や、被爆者の体験記や詩などを朗読する「被爆体験記朗読ボランティア」の養成・登録を行っています。

厚生労働省と広島市、長崎市が協力し、被爆体験伝承者、家族・交流証言者及び被爆体験記朗読ボランティアを全国に無料で派遣し、派遣者は、被爆体験伝承講話、家族・交流証言講話及び被爆体験記朗読会において被爆の実相、平和への想いを伝えます。

令和２年度からは被爆者ご本人の派遣を開始し被爆体験の講話を行います。

◆被爆体験伝承者（広島）　家族・交流証言者（長崎）

広島市、長崎市が養成した被爆体験の伝承者が、プレゼンテーションソフトなどを用いて被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への想いをお話しします。

◆被爆体験記朗読ボランティア（広島・長崎）

国立原爆死没者追悼平和祈念館が募った朗読ボランティアが、被爆者が自ら綴った体験記や詩などを朗読します。聴講者による朗読体験なども行います。

■講話・朗読会の標準開催時間　広島：60分・長崎：40分

◆被爆者ご本人が、ご自身の被爆体験や平和への想いをお話しします**（広島・長崎）**

※受付開始時期、派遣内容は各ホームページにてご確認ください。

令和２年度派遣申込

2/3（月）受付開始

申し込み＆問い合わせ先

◆申込期限は、原則として派遣希望月の3カ月前の月の月末まで
（ただし、派遣希望月が4月の場合は2月末まで）

（例）7/31 派遣希望の場合の〆切 ⇒ 4/30　※申込期限に間に合わない場合は、電話でご相談ください。

◆申込方法は、原爆死没者追悼平和祈念館のホームページでご確認ください。

派遣元	希望する派遣者	申し込み・問い合わせ先
広島	被爆体験伝承者	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 082-207-1202　FAX 082-543-6273 ホームページ　https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/ e-mail　haken@hiro-tsuitokinenkan.go.jp
	被爆体験記朗読ボランティア	
	被爆体験証言者	
長崎	家族・交流証言者	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 095-814-0055　FAX 095-814-0056 ホームページ　https://www.peace-nagasaki.go.jp/ e-mail　haken@peace-nagasaki.go.jp
	被爆体験記朗読ボランティア	
	被爆者	

●国立広島原爆死没者追悼平和祈念館　　●国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

申し込みから開催までの流れ

～被爆体験伝承者等派遣事業～

① 申し込みの受付 令和２年2月3日～　申込期限：原則希望月の3カ月前の月の月末まで（例：7/31 派遣希望の場合の〆切 ⇒ 4/30）

↓

② 派遣の可否の連絡　申込書受付後、20日以内に連絡します。

↓

③ 派遣者名等の派遣内容の連絡　開催日の１カ月から２週間前までに連絡します。

↓

④ 派遣者と電話等で打ち合わせ　派遣者と開催内容等の確認を行ってください。

↓

⑤ 会場への派遣、開催　会場設営、必要機器等の準備を行ってください。

※申し込みに際しての注意事項

〇派遣対象　学校、自治体、その他の団体が主催し、平和に関して学ぶ目的で行う平和学習等とします。ただし、政治・宗教・営利を目的とする集会等は除きます。

〇聴講者数　概ね20名以上が聴講する平和学習等に派遣します。ただし、これを下回る場合においても状況に応じて派遣します。

〇実施回数　申し込みは１団体1回のみ（１年度内）、講話もしくは朗読会のいずれかのみとします。なお、広島、長崎両方への申し込みはできません。

※必要機器等（プレゼンテーションソフトを使用できるパソコン、机、マイク及びマイクスタンド等）は申込者に準備していただきます。また、会場借上料などの必要経費は申込者の負担となります。

令和元年度に寄せられた感想（抜粋）

広島からの派遣

〇被爆体験伝承講話

【兵庫県芦屋市立朝日ケ丘小学校】令和元年9月10日

当時の様子が描かれた絵と被爆体験のお話は、本や漫画で知る広島のこと以上に、リアルに子どもたちの心の中に入っていきました。また、原子爆弾の威力や被害についても具体的にお話しいただきました。

〇被爆体験記朗読会

【山梨県南アルプス市立若草中学校】令和元年12月17日

お一人おひとりの被爆された場所や当時の状況が詳しくわかりました。また、その時どんな心情であったかも感じとることができました。子どもを持つ親として本当に身につまされる内容もあり、後世に伝えていかなければならないと強く感じました。

長崎からの派遣

〇家族・交流証言講話

【愛知県立春日井工業高等学校】令和元年8月26日

静かに話が始まり、当時の町の様子や平和への思い、被爆者から聞いた体験をお話ししていただきました。後半には核のない世の中にするための活動の紹介がありました。プロジェクターを使い効果的にお話ししてくださいました。

〇被爆体験記朗読会

【長崎県西海市立大島東小学校】令和元年6月27日

発達段階に応じて、午前「低学年」午後「高学年」と分けて実施でき、写真を使っての「原爆」のお話、絵を使っての朗読・体験記・絵本と、様々な方法で、それぞれのお話の内容自体も、とても心に残るものでした。落ち着いた優しい声音で朗読していただいたおかげで当時の様子や戦争の時代を生きた人々の気持ちを子供なりに想像しながら聞けたことが、児童の振り返り（感想文）からもよく伝わってきました。